

2014年度
帰国予定（6ヶ月以内）技能実習生による
技能実習評価調査結果報告

公益財団法人 国際研修協力機構
JITCO

帰国予定（6ヶ月以内）技能実習生による技能実習評価調査 結果報告

今般、外国人技能実習・研修制度により入国している技能実習生（以下「技能実習生」という。）のうち、6ヶ月以内に帰国予定の者に対し、技能等の修得の状況についてアンケート調査を行った。

1. 概要

(1) アンケート調査の期間及び手法について

本アンケート調査の期間は、2014年9月から2015年3月までの7ヶ月間であった。

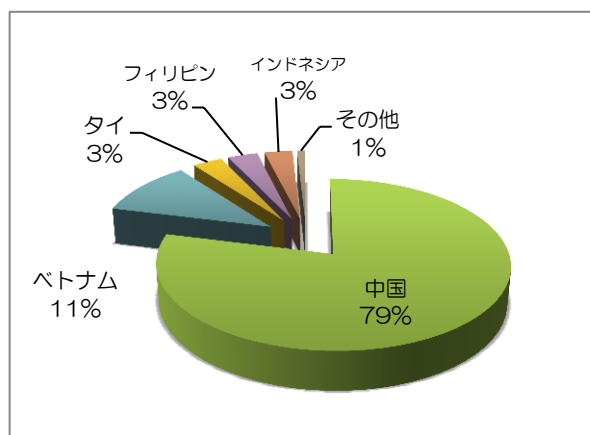
本アンケート調査の手法としては、6ヶ月以内に技能実習を終了し帰国する予定の技能実習生 1,056名に対して、JITCO 地方駐在事務所の職員が実習実施機関に対する巡回指導を行った際に直接アンケートに記入を求める等をして回収した。

(2) 調査対象の属性について

- ① 「国別構成」をみると、中国の技能実習生からの回答数が 833 名（78.9%）と圧倒的に多く、続いてベトナム 114 名（10.8%）、タイ及びフィリピン各 34 名（各 3.2%）インドネシア 32 名（3.0%）の順となっている。
- ② 「業種別構成」をみると、繊維・衣服関係の技能実習生からの回答数が 264 名（25%）と最も多く、続いて食品製造関係 193 名（18.3%）、機械・金属関係 171 名（16.2%）、農業関係 169 名（16.0%）の順となっている。
- ③ 「性別構成」をみると、女性の技能実習生は 725 名（68.7%）で、女性の回答者が多い結果となった。
- ④ 「年齢別構成」をみると、「25～29 歳」の回答数が 375 名（35.5%）と最も多く、「24 歳以下」の 327 名（31.0%）を合わせると、702 名（66.5%）と 20 歳代が 6 割以上を占めた。「30 歳以上」は 349 名（33.0%）であった。回答者の平均年齢は、27.7 歳であった。
- ⑤ 「実習期間構成」をみると、9 割以上の回答者が 3 年間の技能実習生であった。

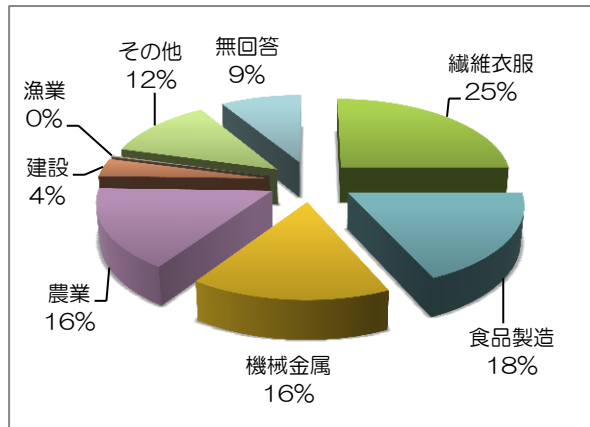
<①国別構成>

国名	回答数	構成比
中国	833	78.9%
ベトナム	114	10.8%
タイ	34	3.2%
フィリピン	34	3.2%
インドネシア	32	3.0%
その他	9	0.9%
計	1,056	



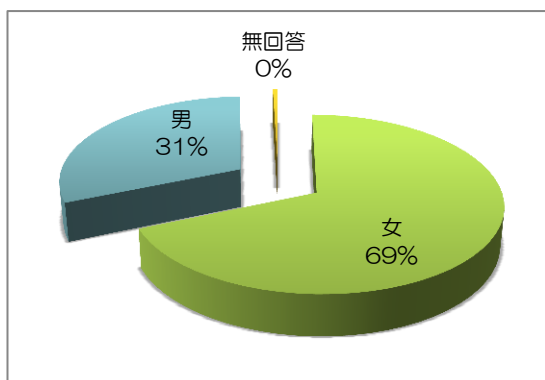
<②業種別構成>

職種	回答数	構成比
繊維衣服	264	25.0%
食品製造	193	18.3%
機械金属	171	16.2%
農業	169	16.0%
建設	38	3.6%
漁業	3	0.3%
その他	126	11.9%
無回答	92	8.7%
計	1,056	



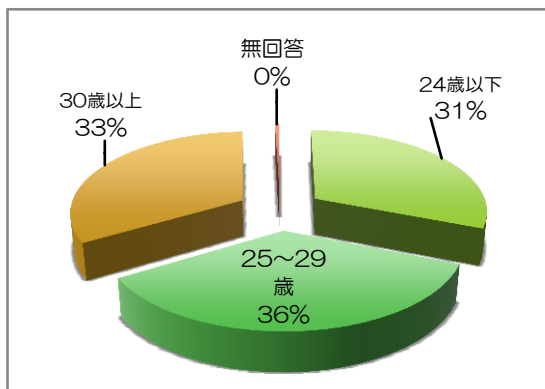
<③性別構成>

性別	回答数	構成比
女	725	68.7%
男	326	30.9%
無回答	5	0.5%
計	1,056	



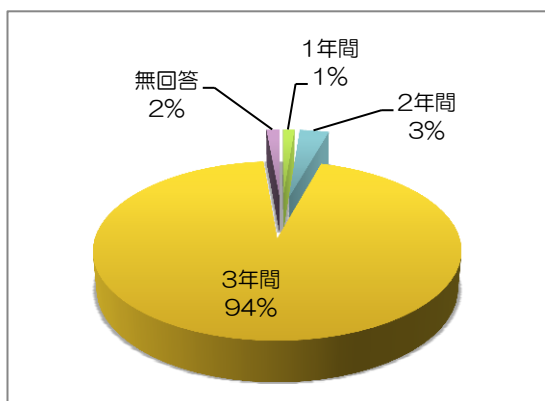
<④年齢別構成>

年齢	回答数	構成比
24歳以下	327	31.0%
25～29歳	375	35.5%
30歳以上	349	33.0%
無回答	5	0.5%
計	1,056	



<⑤実習期間構成>

期間	回答数	構成比
1年間	13	1.2%
2年間	33	3.1%
3年間	995	94.2%
無回答	15	1.4%
計	1,056	



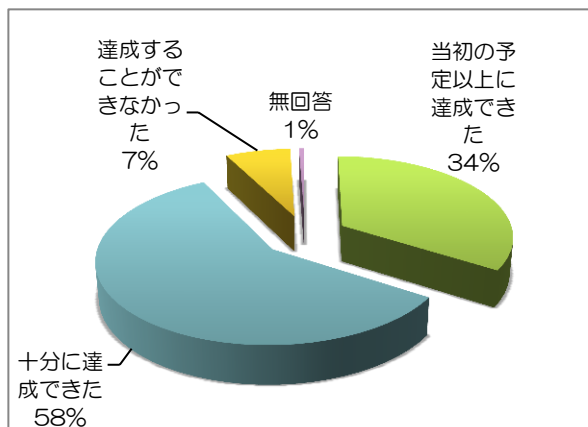
2. 技能実習の目標達成

技能実習における目標の達成度合については、「当初の予定以上に達成できた」と回答した技能実習生は359名（34.0%）、「十分に達成できた」と回答した者が617名（58.4%）であり、合わせて976名（92.4%）の者が目標を達成できたと回答している。

「達成することができなかった」と回答した74名（7.0%）について、「技能実習は自分の役に立ちましたか」という質問への回答をみると、「とても役立った」または「役立った」と回答しているものが合わせて48名であった。

<全体目標達成度>

項目	回答数	構成比
当初の予定以上に達成できた	359	34.0%
十分に達成できた	617	58.4%
達成することができなかった	74	7.0%
無回答	6	0.6%
計	1,056	



3. 技能実習の実効性と帰国後の就業予定について

技能実習内容が、自分に役立ったかどうかについては、「とても役立った」と回答した実習生は 401 名 (38.0%)、「役立った」と回答した者は 585 名 (55.4%) であり、合わせて 986 名 (93.4%) の者が技能実習が役に立ったと回答している。

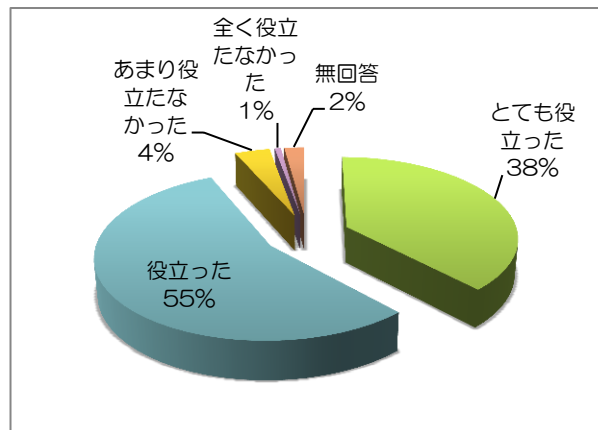
さらに、「とても役だった」又は「役だった」と回答した実習生に、役に立った内容を選択させたところ (複数回答)、「日本での生活経験」、「修得した技能」、「日本で貯めたお金」、「日本語能力の修得」、「日本人との交流」、「仕事に対する意識」などが役に立ったと回答した実習生が多かった。

続いて、帰国後の就業予定について、「働く会社が決まっている」と回答した実習生は 298 名 (28.2%) と 3 割弱で、「仕事を探す予定である」と答えた実習生が 395 名 (37.4%) と最も多かった。「働く会社が決まっている」以外を選択した実習生に、働く会社が決まっていない理由を回答させたところ (複数回答)、「しばらく休む」217 名 (22.7%) に次いで「働く予定の会社よりより良い条件で働きたい」206 名 (21.6%) との回答が多く、技能実習の経験を通して母国でのキャリアアップを望んでいる実習生が多いことが窺えた。

最後に、帰国後の就業職種について、「実習内容と同じ仕事をする予定がある」と回答した実習生が 366 名 (34.7%) と最も多く、「予定はないが実習内容と同じ仕事をしたい」157 名 (14.9%)、「実習内容と関連する仕事をする予定がある」115 名 (10.9%) を併せると全体の 6 割以上の実習生が、帰国後も実習内容と同様の仕事に就き実習で得た経験を生かすつもりでいることが示された。

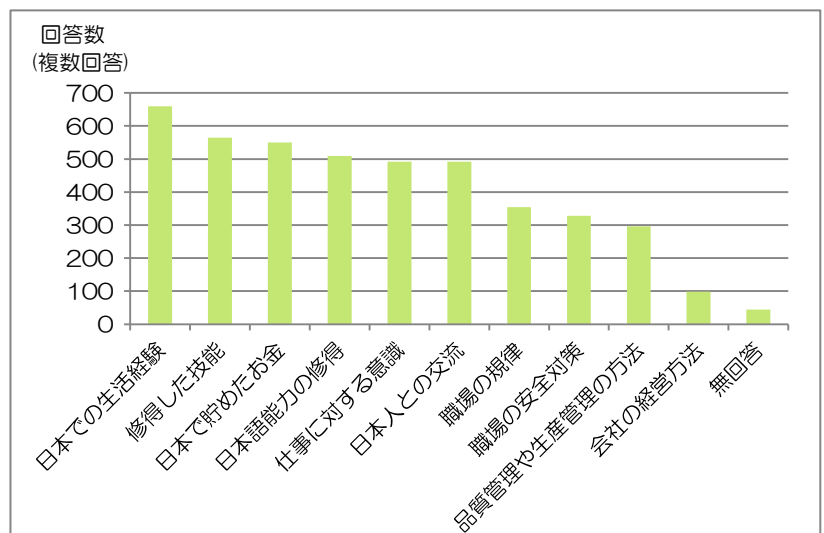
<技能実習の有効性>

項目	回答数	構成比
とても役立った	401	38.0%
役立った	585	55.4%
あまり役立たなかった	40	3.8%
全く役立たなかった	7	0.7%
無回答	23	2.2%
計	1,056	



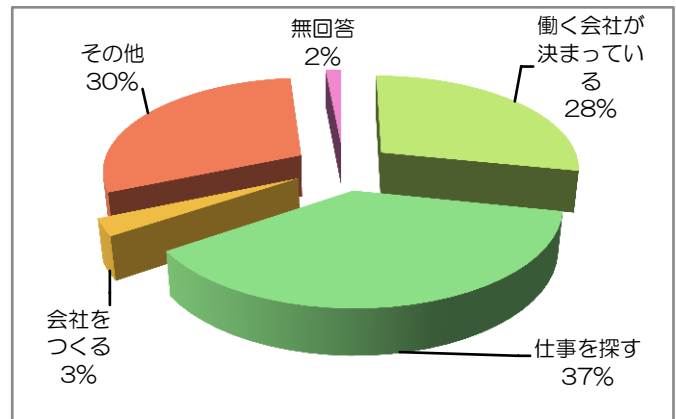
<役に立った内容>

項目	回答数
日本での生活経験	660
修得した技能	565
日本で貯めたお金	550
日本語能力の修得	509
仕事に対する意識	492
日本人との交流	492
職場の規律	354
職場の安全対策	328
品質管理や生産管理の方法	296
会社の経営方法	99
無回答	44



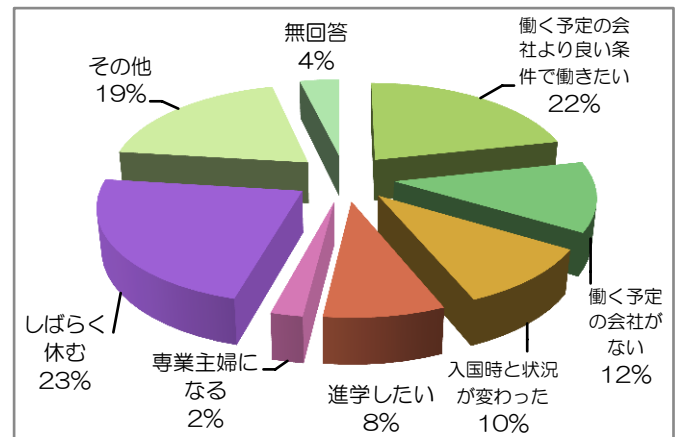
<帰国後の予定>

項目	回答数	構成比
働く会社が決まっている	298	28.2%
仕事を探す予定である	395	37.4%
会社を作る予定である	31	2.9%
その他の予定である	316	29.9%
無回答	16	1.5%
計	1,056	



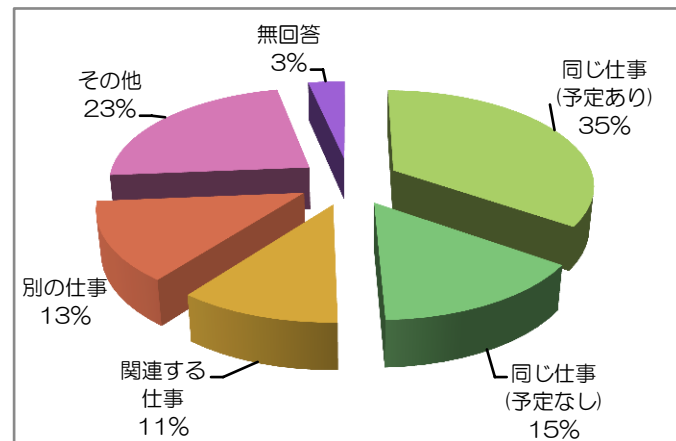
<働く会社が決まっていない理由>

項目	回答数	構成比
働く予定の会社より良い条件で働きたい	206	21.6%
働く予定の会社がない	114	11.9%
入国時と状況が変わった	97	10.2%
進学したい	79	8.3%
専業主婦になる	21	2.2%
しばらく休む	217	22.7%
その他	184	19.3%
無回答	36	3.8%
計	954	



<帰国後の職種>

項目	回答数	構成比
実習内容と同じ仕事をする予定がある	366	34.7%
予定はないが実習内容と同じ仕事をしたい	157	14.9%
実習内容と関連する仕事をする予定がある	115	10.9%
実習内容とは別の仕事をする予定がある	140	13.3%
その他	242	22.9%
無回答	36	3.4%
計	1,056	



4. まとめ

今回のアンケート調査は、帰国直前の技能実習生が、技能実習での技能等の修得に関し、高い目標達成感を持ち、技能実習に高い評価を示していることを示すものとなった。